

新宮山彦ぐるーぷ第2302回

釈迦ヶ岳旧登山道(不動小屋谷登山道)の調査

◇実施日 6月26日(水) 曇り一時晴

◇参加者 梶野照雄 1名

釈迦ヶ岳の太尾登山口は休日になると車が溢れて、500mほども下った場所に駐車せざるを得なくなることが悩みの種だ。そこで過去に何度も使った不動小屋谷登山道の現状を調査し、可能であれば再び現役の登山道として使えるように整備をしようと考えた。



旧登山口 チェーンソーやヘッジトリマー ピンクのテープ多数

チェーンソー、ヘッジトリマーにGPSなどを携えて登り始めた。登山口付近のススキなどを刈り取り、張られたロープを潜って谷沿

いに歩く。手前に真っすぐ登る道があったが、登山道とは方向が違うので調べてはいない。しばらく進むと右手の杉の木にピンクのテープが巻かれている。少し上の木にもピンクテープが見えていた。旧登山道とは方向が違うが、登りであり途中で旧登山道に合流するかもしれないと思い、テープを辿っていく。比較的大きな尾根を登っていくが、踏み跡は徐々に薄くなり間伐されて放置された木が増えてきた。どうやらこのピンクテープは間伐時の目印と思われる。GPSで確認するとこのまま尾根の終わりまで登って旧登山道に出るようだ。もうかなり登ってきたのでこのまま進むことにした。踏み跡は無くなり、鹿の足跡の有る獣道を辿っていく。大きな岩を三カ所捲いて旧登山道に出るまで2時間もかかってしまった。



間伐された木が増える 太尾登山道はずぐ しばらく休む

旧登山道に出てから太尾登山道迄は10分、ここでザックを降ろして休憩する。太尾登山口側の伸びた笹を5mほど刈り込んだ。行動食を食べてから下り始める。この旧道を降りるのは2016年

3月以来で、その時あった枝の多い倒木は切除処理されていた。旧道と判る部分の笹などを刈りながら進む。15分位下ると道が怪しくなってきた。GPSを見ると少し上で右に曲がっている。戻ってよく見ると笹に覆われた道が見えた。ここでも笹を広目に刈取りはつきりとした旧道を下る。



笹を刈る

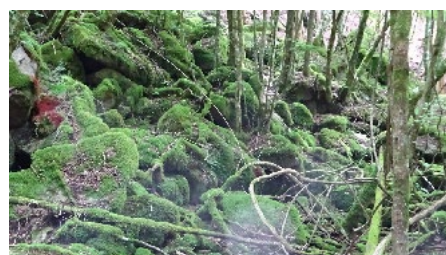
林道途中への分岐

旧登山道は残っている

40分ほど下った所で前方にピンクの杭が見えたので進んでいくと大きな岩が重なった場所に出た。以前の記憶にこんな場所が無かったので再びGPSを見ると、朝登ってきた方向へ向かっている。登り返してここでも時間をロスした。

本来の旧道は道がはつきりの残っていて、ピンクのテープは見当たらない。杉の枯葉や伸びた草などで曲がり角が不明瞭なところが多し。沢の水音が聞こえるようになると、左手にきれいな苔が生えた岩が現れる。昔の写真を見るとこの岩を伝って登っていたようだが、何となく下ってきたのは岩の右手だった。水音が聞こえるようにな

ると、どこを下っても大差ないように思うが、登る際には方向を見誤らないようにしなければならぬ。



崩れた沢を通過

苔がついた岩

下山

1990年頃から、この旧道を20回以上使ってきたが、過去の記憶が当てにならないこと、最後に歩いてから8年経過すると状態が全く変わっていることが良く判った。ピンクテープの大部分は間伐時の目印で、元々の登山道とは全く関係がない。青いテープが数カ所で見られたが、これは登山道に付けられたと推測できる。ただ極端に数が少ないのであまり足しにはならない。誰でもが歩けるようにするには、間伐時のピンクテープを外して、本来の登山道に目印を付けることが必要だ。

(記：梶野)

行動タイム

旧登山口 09:00→11:10 太尾登山道 11:25→13:45 旧登山口

